資料②

重点目標２　暮らす～子どもから高齢者まで安全安心のくらしをつくる～

インパクト指標	現状値（2025）	目標値（2031）
宍粟市は住みよいまちだと思う人の割合	５５．５％（2024）	７０．０％

基本的な方向１　子育て環境と教育の充実

妊娠・出産から保育・学校教育までを一貫して支え、子育て世帯の負担を軽減するとともに、子どもたちが豊かな学びと体験のなかで成長できる環境を整えます。

アウトカム指標	現状値（2025）	目標値（2031）
子育て支援への取組の満足度	１９．９％（2024）	２５．０％
学校教育への取組の満足度	１７．８％（2024）	２３．０％

●具体的施策

⑴妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援

経済的支援と相談・預かり機能を組み合わせ、子育て世帯を地域全体で支えます。

関連する主な事業	アウトプット指標	現状値（2025）	目標値（2031）
①	結婚新生活支援事業補助金の申請世帯数	１４世帯	現状値を維持
②	妊婦健康診査未受診者数	０人	０人
③	病児・病後児保育年間利用児童人数【延べ】	２２０人	４５０人
④	ファミリーサポートセンター援助活動人数【延べ】	８２９人	現状値を維持
⑤	子育て支援センター月間利用組数【延べ】	４５４組	現状値を維持

■主な事業

①結婚新生活支援事業

②妊婦健康診査費等助成事業

③病児・病後児保育事業

④ファミリーサポートセンター事業

⑤地域子育て支援拠点事業（子育て支援センター事業

<table>
<tr><td colspan="6">■工程表</td></tr>
<tr><td>主な事業</td><td>2027</td><td>2028</td><td>2029</td><td>2030</td><td>2031</td></tr>
<tr><td>①結婚新生活支援事業</td><td colspan="2">ライフデザイン支援やプレコンセプションケアに関する知識習得と併せ、結婚新生活支援制度に関する周知</td><td rowspan="5">第3次宍粟市子ども・子育て支援事業計画の策定</td><td colspan="2">ライフデザイン支援やプレコンセプションケアに関する知識習得と併せ、結婚新生活支援制度に関する周知</td></tr>
<tr><td>②妊婦健康診査費等助成事業</td><td colspan="2">伴走型相談支援の実施</td><td colspan="2">伴走型相談支援の実施</td></tr>
<tr><td>③病児・病後児保育事業</td><td colspan="2">市公式サイト・広報や子育てガイドブックへの掲載・窓口でのPRなどによる周知</td><td colspan="2">市公式サイト・広報や子育てガイドブックへの掲載･窓口でのPRなどによる周知</td></tr>
<tr><td>④ファミリーサポートセンター事業</td><td colspan="2">援助を求める保護者が子育てのサポートを受けられるよう、交流会や広報活動を通じた事業の周知・講習会等の開催による会員の資質の向上</td><td colspan="2">援助を求める保護者が子育てのサポートを受けられるよう、交流会や広報活動を通じた事業の周知・講習会等の開催による会員の資質の向上</td></tr>
<tr><td>⑤地域子育て支援拠点事業（子育て支援センター事業）</td><td colspan="2">親子が気軽に訪れ、遊びの場として利用できる環境整備・多様な講座や行事の開催</td><td colspan="2">親子が気軽に訪れ、遊びの場として利用できる環境整備・多様な講座や行事の開催</td></tr>
</table>

⑵保育・幼児教育の充実

保育ニーズに柔軟に応え、幼児期の学びの質を高めることで、子どもの育ちと保護者の就労の両立を図ります。

関連する主な事業	アウトプット指標	現状値（2025）	目標値（2031）
①	放課後児童支援員認定資格研修受講率	５８％	８０％
②	こども誰でも通園制度利用率	-	１０％
③	各校区でのカリキュラム策定割合	-	１００％
④	学年別研修会受講率	７１．４％	８０．０％

■主な事業

①あずかり・学童保育事業

②乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）【新規】

③しそう幼小架け橋プログラム推進事業

④保育士の資質向上研修事業

■工程表

主な事業	2027	2028	2029	2030	2031
①あずかり・学童保育事業	未受講者へのアプローチと負担軽減策の実施	研修受講の定着化			
②乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）	戸原こども園での実績をもとに民間施設へ働きかけ	複数園での運用開始	制度の定着		
③しそう幼小架け橋プログラム推進事業	幼小連携促進委員会の立ち上げとモデル園小でのカリキュラム作成と編成	市内園小でのカリキュラムの作成と編成		カリキュラムの定着化	
④保育士の資質向上研修事業	園長、副園長、主任を対象とした研修の実施				

⑶学校教育の質の向上と教育環境整備

知・徳・体のバランスある教育活動と、ICT 環境の整備により、子どもの生きる力を育みます。

関連する主な事業	アウトプット指標	現状値（2025）	目標値（2031）
①	国語及び算数（数学）の授業の内容が分かるという児童生徒の割合	８３.２%	８５%以上
②	地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがあるか（習い事は除く）という児童生徒の割合	４１.２%	５０%以上
③	将来、自主的に運動やスポーツをする時間をもちたいという児童生徒の割合	８７.４%	８８%以上
④	通信ネットワーク環境整備済みの学校施設室数の割合	７５．３%	１００%
⑤	学校給食の地産地消率	７０．５%	７７．５%

■主な事業

①しそう学校生き活きプロジェクト事業（学力向上）
②しそう学校生き活きプロジェクト事業（体験学習）
③しーたんチャレンジ事業
④小中 ICT 環境整備事業
⑤学校給食地産地消事業

■工程表

主な事業	2027	2028	2029	2030	2031
①しそう学校生き活きプロジェクト事業（学力向上）	授業改善の促進	教科横断的なカリキュラム・マネジメントの実現	指導計画の作成と評価の工夫	校種間連携の促進	多様な個性の包摂と自律的に学ぶ力の向上をめざす
②しそう学校生き活きプロジェクト事業（体験学習）	学習活動の工夫	家庭や地域と連携した安全確保体制の準備等	行事や活動に参加するなど、地域とのつながりの深化	子どもの成長を地域社会全体で支える体制の構築	より地域と協働した体験的な学びを取り入れる
③しーたんチャレンジ事業	年間指導計画の作成	体力・運動能力向上を図る態	体育・スポーツ活動の楽しさ	運動やスポーツの習慣化を	学校・家庭・地域と連携した発達段階に応

		度の育成	や喜びにつなげるための ICT 等の活用	ねらいとした ICT の積極的な活用	じた運動の指導の創意工夫及び授業改善
④小中 ICT 環境整備事業	小中学校ネットワーク機器、サーバー更新・ 校務支援システムのクラウド移行	小中学校アクセスポイント関係更新・増設		児童生徒用タブレットパソコン及び校務用 PC 更新	ネットワーク更新事業の検討
⑤学校給食地産地消事業	栽培品種等拡大検討		契約栽培等の検討（大豆等）		契約栽培等の実施

基本的な方向２　健康づくりと生きがいづくりの推進

子どもから高齢者まで誰もが心身ともに健やかで、地域とつながりながら生きがいを持って暮らせるまちをめざします。

アウトカム指標	現状値（2025）	目標値（2031）
健康づくりへの取組の満足度	１９．２％（2024）	２５．０％
スポーツ活動への取組の満足度	１２．１％（2024）	１７．０％

●具体的施策

⑴健康づくり・生活習慣病予防

特定健診の受診率向上と特定保健指導の充実、ラジオ体操やスポーツ活動の習慣化を通じて、市民の健康づくりや生活習慣病の発症・重症化予防を図ります。

関連する主な事業	アウトプット指標	現状値（2025）	目標値（2031）
①	特定健診受診率	４０．９％（2024）	６０．０%以上
②	特定保健指導実施率	６６．２％（2024）	現状値を維持
③④	スポーツ施設年間利用者数	１１８，００８人	１５７,０００人以上
⑤	ラジオ体操推進団体・事業所数【累計】	１６団体（2021）	４５団体

■主な事業

①特定健診
②特定保健指導
③スポーツ活動の推進
④生涯スポーツ活動の推進
⑤健康づくりの推進

■工程表

主な事業	2027	2028	2029	2030	2031
①特定健診	健康増進計画の評価・改訂				
②特定保健指導	健康増進計画の評価・改訂				
③スポーツ活動の推進	施策の達成状況の確認と目標の達成状況の検証	スポーツ推進計画に基づく施策の推進			
④生涯スポーツ活動の推進					
⑤健康づくりの推進					

⑵高齢者が孤立しない地域づくり

認知症サポーターの養成と「いきいき百歳体操」など住民主体の通いの場づくりを推進し、高齢者が地域のなかで役割を持ち、安心して暮らし続けられる支えあいの体制を強化します。

関連する主な事業	アウトプット指標	現状値（2025）	目標値（2031）
①	認知症サポーター養成講座年間受講者数	２６４人	２７０人
②	「いきいき体操」に取り組む人の割合（65歳以上の市民）	１３．９％	１５．０％
③	高齢者大学学生数	４３７人	現状値を維持

■主な事業

①認知症サポーター養成講座

②高齢者通いの場づくり応援事業

③高齢者向け生涯学習事業

■工程表

主な事業	2027	2028	2029	2030	2031
①認知症サポーター養成講座	養成講座の新規開拓と認知症キャラバンメイト増員に向けた周知活動				
②高齢者通いの場づくり応援事業	いきいき体操ＤＶＤ見直しへの取組	未参加層へのアプローチ強化、インストラクター増加を目的とした周知活動			
③高齢者向け生涯学習事業	未参加層へのアプローチ強化、学びを中心にした多くの人との交流の中で社会参加やより豊かな生活を実現する事業の周知と実施				

基本的な方向３　安全安心で持続可能な生活環境の確保

　環境保全・循環型社会の推進や交通安全・防犯・防災対策、住民主体の地域づくりを一体的に進めることで、安全安心で持続可能な生活環境の確保を図ります。

アウトカム指標	現状値（2025）	目標値（2031）
資源循環型社会に向けた取組の満足度	１０．７％（2024）	１６．０％
防犯・交通安全の取組の満足度	１７．６％（2024）	２３．０％
参画と協働・男女共同参画の取組の満足度	７．６％（2024）	１３．０％

●具体的施策

⑴環境保全と循環型社会の推進

　ごみの減量化、リサイクルの推進等を通じて、自然と共生する循環型の地域社会づくりを推進します。

関連する主な事業	アウトプット指標	現状値（2025）	目標値（2031）
①	生ごみ処理機の購入補助件数	４０件	現状値を維持
②	リサイクル率	２４．７％（2024）	２７．０％
③	クリーン作戦の参加者数	９，３５７人	現状値を維持

■主な事業

①生ごみ減量化の促進

②リサイクル（資源循環）の推進

③環境保全の啓発

■工程表

主な事業	2027	2028	2029	2030	2031
①生ごみ減量化の促進	フードロス対策等の徹底、５Ｒ運動（リデュース）、３切り運動の実践と徹底、宍粟版キエーロ等生ごみ処理機の普及		第２次一般廃棄物処理基本計画中間見直し	フードロス対策等の徹底、５Ｒ運動（リデュース）と３切り運動の実践と徹底、宍粟版キエーロ等生ごみ処理機の普及	
②リサイクル（資源循環）の推進	5Ｒ運動の継続と徹底、リサイクル集団回収の推進、自治会資源物再資源化の推進、硬質プラスティックの再資源化の検討			５Ｒ運動の継続と徹底、リサイクル集団回収の推進、自治会資源物再資源化の推進、硬質プラスティックの再資源化の検討	
③環境保全の啓発	出前講座による環境教育の推進と周知、不法投棄パトロールの実施				

⑵交通安全・防犯・防災による安全なくらしの確保

交通安全意識の啓発、防犯環境の整備、防災出前講座を通じて、交通事故・犯罪の減少と地域防災力の向上を図り、誰もが安全安心に暮らせる生活環境を確保します。

関連する主な事業	アウトプット指標	現状値（2025）	目標値（2031）
①	交通安全教室年間開催回数	９１回	１００回
②	防犯灯設置年間補助件数	３３基	現状値を維持
③	防災出前講座年間開催回数	１０回	現状値を維持

■主な事業

①交通安全教室

②防犯灯設置補助事業

③防災出前講座

■工程表

主な事業	2027	2028	2029	2030	2031
①交通安全教室	事業の実施	事業の実施、評価・検証	事業の実施、改善		
②防犯灯設置補助事業					
③防災出前講座					

⑶住民主体の地域づくりと多様な参画の推進

地域交通の確保や消費者保護、男女共同参画やコミュニティ支援を通じて、住民が安心して暮らし、誰もが活躍できる、住民主体の持続可能な地域づくりを総合的に推進します。

関連する主な事業	アウトプット指標	現状値（2025）	目標値（2031）
①②	路線バス利用者数【延べ】	２２６，９１５人	２５４，７００人
③	消費者市民生活に関する出前講座の年間開催件数	５２件	７０件
④	女性活躍推推進企業（ミモザ企業）数【累計】	２団体	６団体
⑤	女性セミナー受講人数(連続受講)	平均８人	平均２０人
⑥⑦	地区コミュニティ支援員派遣先団体数	３団体	7団体以上
⑧	女性が会長・副会長・会計の職のいずれかに就任する自治会の数	7自治会	１９自治会
⑨	しそう手続きナビでオンライン申請できる件数	３５件	現状値より増加

■主な事業

①地域生活交通対策事業

②交通系 IC カードによるキャッシュレス決済の推進【新規】

③消費者行政の推進
④男女共同参画推進事業
⑤女性リーダー育成セミナー
⑥地域運営組織（RMO）の形成支援
⑦地区コミュニティ支援員派遣
⑧自治会女性役員参画推進事業
⑨自治体 DX 環境整備事業

<table>
<tr><th colspan="6">■工程表</th></tr>
<tr><th>主な事業</th><th>2027</th><th>2028</th><th>2029</th><th>2030</th><th>2031</th></tr>
<tr><td>①地域生活交通対策事業</td><td>宍粟市地域公共交通計画に基づく目標達成に向けた施策･事業の展開</td><td>宍粟市地域公共交通計画中間見直し</td><td colspan="3">宍粟市地域公共交通計画に基づく目標達成に向けた施策・事業の展開</td></tr>
<tr><td>②交通系 IC カードによるキャッシュレス決済の推進</td><td>利便性の向上と公共交通の利用促進を目的とし、大型バス（市内幹線）における交通系 IC カードを導入</td><td colspan="4">交通系 IC カード決済導入を起点とし、安定的な運用と利便性の維持・向上に努め、公共交通の持続的な発展をめざす</td></tr>
<tr><td>③消費者行政の推進</td><td>過去の開催実績から、啓発対象者の偏在性を検証</td><td>ライフステージに対応した講座等の企画・立案</td><td>既存の展開に加え、現代的課題である「エシカル消費・SNS トラブル」への対応強化</td><td>実績の検証・評価</td><td>PDCA の定着及び事業所との連携による啓発活動の拡大</td></tr>
<tr><td>④男女共同参画推進事業</td><td>男女共同参画社会の実現に資する市民活動への助言及び財政的支援（最大３年間）</td><td>「ミクロ（個別活動）」から「マクロ（地域活動）」へと団体間の連携促進</td><td colspan="3">３年間の取り組みサイクルを継続・男女共同参画社会に取り組む市民団体活動の拡大</td></tr>
</table>

⑤女性リーダー育成セミナー	男女共同参画の考え方についての普及啓発を目的に、連続セミナーへの参加を促進	「個人での実践」から「他者に対する実践」への意識変革を促進するセミナーの展開	３年間の取組サイクルの継続・男女共同参画社会への理解を持つ市民の拡大
⑥地域運営組織（RMO）の形成支援	各地区における組織形成に向け、コミュニティ支援員を派遣し、住民間の合意形成や組織設計をサポートするとともに、兵庫県の多自然地域づくりアドバイザー派遣事業を活用し専門的な知見を導入する。「準備」「設立」「定着」の各段階に応じた伴走支援を展開し、住民が主体となって地域課題を解決できる持続可能なコミュニティ基盤の確立		
⑦地区コミュニティ支援員派遣	参画と協働のまちづくり指針に基づく今後の地域運営のあり方の検討		
⑧自治会女性役員参画推進事業	補助金事業により、自治会における男女共同参画社会への理解を促進	事業の継続	事業成果の検証・事業継続有無の判断
⑨自治体ＤＸ環境整備事業	eL-TAX 導入に向けたシステム調達などの検討、書かない窓口の導入検討、音声案内・留守電等に対応する電話の導入	eL-TAX の導入、書かない窓口の導入検討	書かない窓口の導入検討

重点目標３　選ばれる～若者や女性に選ばれ、世代を超えて誇れるふるさとをつくる～

インパクト指標	現状値（2025）	目標値（2031）
転出超過数	３１６人	１６６人（2030）

基本的な方向１　移住・定住の促進

空き家の有効活用と、東京圏からの移住支援、地域おこし協力隊など地域に関わる多様な人材の受け入れを進めます。

アウトカム指標	現状値（2025）	目標値（2031）
住宅取得支援を利用した移住者数	５１人	現状値を維持

●具体的施策

⑴空き家の活用による定住基盤の整備

実態調査や不動産事業者との連携で空き家バンクの登録・成約を促進し、市公式サイト・SNS での情報発信と取得や活用の支援を通じて、定住につながる住まいの受け皿を広げます。

関連する主な事業	アウトプット指標	現状値（2025）	目標値（2031）
①	空き家バンクの年間登録物件数	６０件	現状値を維持
②③	空き家バンク物件の年間成約件数（移住）	１８件	現状値を維持

■主な事業

①空き家・空き地バンク事業

②空き家の活用推進

③定住促進員設置事業

■工程表

主な事業	2027	2028	2029	2030	2031
①空き家・空き地バンク事業	所有者等への啓発、市公式サイトや SNS による登録物件情報の発信				
②空き家の活用促進	空き家の活用及び取得補助、物件情報の発信				
③定住促進員設置事業					

⑵移住支援と地域に関わる人材の受け入れ

東京圏在住者への移住支援金や移住相談会への参加を通じて移住者を呼び込むとともに、地域おこし協力隊員の受け入れと地域での活動定着を支援します。

関連する主な事業	アウトプット指標	現状値（2025）	目標値（2031）
①②	移住相談会への参加回数	２回	現状値を維持
③	地域おこし協力隊員人数【延べ】	２１人	２７人

■主な事業

①東京圏在住者移住支援事業

②移住相談会

③地域おこし協力隊制度

■工程表					
主な事業	2027	2028	2029	2030	2031
①東京圏在住者移住支援事業 ②移住相談会	東京・大阪での移住相談会への参加（年２回）				
③地域おこし協力隊制度	地域での勉強会等の開催支援・地域おこし協力隊などを受け入れる地域づくりの主体となる団体の育成				

基本的な方向２　地域資源の魅力と価値向上によるつながりの拡大

本市ならではの観光資源や森林資源を活かして地域価値の向上を図り、関係人口の拡大につなげます。

アウトカム指標	現状値（2025）	目標値（2031）
観光入込客数	８８０千人	１，１１０千人

●具体的施策

⑴観光資源の価値向上

観光イベント支援や観光協会との連携、道の駅間の連携強化、文化財の保存活用により、宍粟ならではの体験価値を高め、観光資源の価値を向上させます。

関連する主な事業	アウトプット指標	現状値（2025）	目標値（2031）
①②	国見の森公園プログラム参加者数	４２．５千人	４３．１千人
③	道の駅利用者数【延べ】	３１５千人	３３０千人
④	宍粟市文化財保存活用地域計画協議会による効果検証	年１回	現状値を維持
⑤	音水湖カヌー競技場施設利用者数【延べ】	８，８４８人	１１，０００人

■主な事業

①観光イベント補助事業
②しそう森林王国観光協会支援事業
③道の駅管理運営事業
④文化財保存活用事業
⑤音水湖（引原ダム）エリアの利活用推進事業

■工程表

主な事業	2027	2028	2029	2030	2031
①観光イベント補助事業	観光拠点の施設整備の推進				
②しそう森林王国観光協会支援事業	地域との連携体制づくりの強化				
③道の駅管理運営事業	それぞれの道の駅からの年間事業報告と監査を実施				
④文化財保存活用事業	宍粟市文化財保存活用地域計画の年次評価			宍粟市文化財活用地域計画中間評価	宍粟市文化財活用地域計画の年次評価
⑤音水湖（引原ダム）エリアの利活用推進事業	音水湖利活用推進委員会や音水湖カヌークラブ等と連携した事業の展開				

⑵森林資源を活かした地域価値の向上

再生可能エネルギー機器購入補助や森林吸収系 J-クレジット創出、森林セラピーコースの維持・PR、市民による広葉樹植栽活動の支援を通じ、森林資源を活かした地域価値を向上させます。

関連する主な事業	アウトプット指標	現状値（2025）	目標値（2031）
①	広葉樹転換面積【累計】	０．４５ha	1ha
②③	再生可能エネルギー自給率	９２．５%（2022 年）	１００%
④	森林吸収系Ｊ－クレジット認証量【累計】	９０２ t－CO_2	１９，０００ t－CO_2
⑤	森林セラピー体験者数【延べ】	６９５人	１，０００人

■主な事業

①彩りの森づくり事業

②再生可能エネルギー利用促進補助事業

③森林環境ポイント制度

④森林吸収系Ｊ－クレジット創出事業

⑤森林セラピー推進事業

■工程表

主な事業	2027	2028	2029	2030	2031
①彩りの森づくり事業	普及啓発活動の強化				
②再生可能エネルギー利用促進補助事業	制度の周知を促進				
③森林環境ポイント制度					
④森林吸収系Ｊ－クレジット創出事業	2028・2031　第１弾（3・4 回目の検証審査発行） 2027・2029・2031　第２弾（1・2・3 回目の検証審査発行） 第１・２弾に係る販売の促進				
⑤森林セラピー推進事業	森林セラピー推進方針に基づいた取組の推進				

⑶関係人口の創出

ふるさと納税による寄付募集や「ふるさと住民登録制度」の導入検討等を通じて、市外の応援者との継続的な関係を構築し、関係人口の創出に取り組みます。

関連する主な事業	アウトプット指標	現状値（2025）	目標値（2031）
①	返礼品登録事業者数【累計】	４８事業者	６７事業者
②	ガバメントクラウドファンディング型ふるさと宍粟寄付金交付件数	0件	5件
③	ふるさと住民登録制度	―	2029 年開始事業のため目標値未設定
④	保育園留学利用世帯数【累計】	―	６３世帯

■主な事業

①ふるさと納税推進事業

②ガバメントクラウドファンディング型ふるさと宍粟寄付金交付事業

③ふるさと住民登録制度【新規】

④千種地域保育園留学事業【新規】

<table>
<tr><th colspan="6">■工程表</th></tr>
<tr><th>主な事業</th><th>2027</th><th>2028</th><th>2029</th><th>2030</th><th>2031</th></tr>
<tr><td>①ふるさと納税推進事業</td><td colspan="5">返礼品の開拓並びに周知</td></tr>
<tr><td>②ガバメントクラウドファンディング型ふるさと宍粟寄付金交付事業</td><td colspan="5">制度の周知</td></tr>
<tr><td>③ふるさと住民登録制度</td><td>制度の実施
（国）</td><td>制度の創設
を検討</td><td colspan="3">制度の実施
（検討結果による）</td></tr>
<tr><td>④千種地域保育園留学事業</td><td colspan="2">事業の実施</td><td colspan="3">実績に基づく事業継続の判断</td></tr>
</table>

基本的な方向３　地域ブランドの形成と誇りあるふるさとづくり

木育や発酵を通じて、子どもから大人まで世代を超えた学びと体験につなげ、一体的に発信することで、市民が地域に誇りを持ち、選ばれるまちとしてのブランド形成をめざします。

アウトカム指標	現状値（2025）	目標値（2031）
「将来的に宍粟市に住みたい」と思う中高生の割合	５７．７％（2024）	７５．０％

●具体的施策

⑴木育を通じた森林文化の継承

木育イベントや木育新聞の発行、宍粟材の学習机整備等を通じて、幼少期から宍粟材と触れ合う機会を創出し、森林文化の継承と宍粟材利用の普及啓発を推進します。

関連する主な事業	アウトプット指標	現状値（2025）	目標値（2031）
①	園児木育イベントの開催回数	２回	現状値を維持
②	木育新聞発行回数	４回	現状値を維持
③	園児木育講座参加園数	１１園	１４園
④	宍粟市産木材の学習机の整備率	５６．１％	１００％
⑤	誕生祝い品贈呈数	出生に伴う贈呈のため、目標値設定無	

■主な事業

①森林大学校での園児木育イベントの開催
②木育新聞（みどりじまん新聞）の発行
③園児木育講座の実施
④宍粟材を活用した児童生徒用学習机整備事業
⑤誕生祝い品贈呈事業

■工程表

主な事業	2027	2028	2029	2030	2031
①森林大学校での園児木育イベントの開催	前年の実施内容の検証結果を踏まえたイベントの実施				
②木育新聞（みどりじまん新聞）の発行	現状維持（春夏秋冬年４回の発行）				
③園児木育講座の実施	多世代交流施設での園児木育講座の実施				
④宍粟材を活用した児童生徒用学習机整備事業	導入机の状況調査を実施				アンケート調査等の実施
⑤誕生祝い品贈呈事業	事業の実施				

⑵「発酵のふるさと宍粟」を軸とした地域ブランドの発信

発酵フェアや小学校での味噌づくり、発酵教室等を通じて、「発酵のふるさと宍粟」の地域ブランドの発信を進めます。

関連する主な事業	アウトプット指標	現状値（2025）	目標値（2031）
①	アンケート回答者数	２３９人	４７８人
②	参加小学校数	１０校	現状値を維持
③	発酵食レシピ応募数	―	３４件
④	発酵教室年間開催回数	５回	現状値を維持

■主な事業

①しそう発酵フェアの開催

②市内小学校味噌づくりサポート事業

③発酵食レシピ募集事業（小中学生向け）

④発酵教室の開催

■工程表

主な事業	2027	2028	2029	2030	2031
①しそう発酵フェアの開催	前年度の実施内容の検証結果を踏まえた事業の実施				
②市内小学校味噌づくりサポート事業	事業の継続実施				
③発酵食レシピ募集事業（小中学生向け）	夏休み前に各小学校に協力依頼、事業実施、検証	前年度の実施内容の検証結果を踏まえた事業の実施			
④発酵教室の開催	前年度の実施内容の検証結果を踏まえた事業の実施				